

機種構成形式			SRYJ1120P FRYJ1120P+CRYJ560P(E)×2 空冷ヒートポンプ式		
★1 冷房能力		kW	100/112		
★2 暖房能力		kW	106/118		
★3 暖房低温能力		kW	77.5/87.5		
室内ユニット	機種		FRYJ1120P		
	電源外装		3相 200V 50/60Hz アイボリーホワイト(5Y7.5/1)		
	外形寸法 高さ×幅×奥行		mm	1,850×1,960×1,200	
	機種 X 台数		6T55TACS×2		
	形式		全密閉式		
	押しのけ量		m ³ /h	62.97/74.91	
	回転数		r.p.m.	2,900/3,450	
	電動機出力		kW	15	
	始動方式		順次 1-△始動		
	室内側熱交換器		クロスフィンコイル式		
室外ユニット	機種		2D2 ¹ / ₂ D		
	形式		シロッコファン		
	電動機出力		kW	7.5	
	風量		m ³ /min	330	
	★4 機外静圧		Pa	201/201	
	駆動方式		ベルト掛け駆動		
	温度調節器		冷房用(暖房用逆接点付)		
	吸音断熱材		グラスファイバ		
	エアフィルタ		樹脂ネット		
	接続配管		液側冷媒配管 ガス側冷媒配管 ドレン出口管		
質量		kg	1,020		
室外ユニット	機種 X 台数		CRYJ560P×2		CRYJ560PE×2
	外装		アイボリーホワイト(5Y7.5/1)		ライトキャメル(2.5Y6.5/1.5)
	外形寸法 高さ×幅×奥行		mm	1,275×1,960×980	
	室外側熱交換器		クロスフィンコイル式		
	機種 X 台数		P80E×2		
	形式		プロペラファン		
	電動機出力×台数		kW	0.28×2	
	風量		m ³ /min	380/420	
	駆動方式		直結駆動		
	接続配管		液側冷媒配管 ★5 ガス側冷媒配管		
質量		kg	210		
保護装置			高圧圧力開閉器、過電流継電器、溶栓、ファン電動機保護サーモスタット 圧縮機保護サーモスタット		
容量制御			100-50-0%		
冷媒制御			感温膨張弁、キャピラリチューブ		
除霜方式			ダイヤイサ(タイマー、サーモスタット)		
冷媒配管	標準長さ		m	10	
	最大長さ		m	実配管長 50 相当長 70	
	最大高さ		m	20(室内ユニットが上) 30(室内ユニットが下)	
冷媒	冷媒名		R22		
	充填量		kg	21.0×2(出荷時室内ユニットに充填)	
冷凍機油	冷凍機油名		SUNISO4GSD1D-K		
	充填量		ℓ	6.1×2	
法定冷凍トン			14.82×17.62		
標準付属品及び予備品			取扱説明書、保証書、ヒューズ、付属配管		
別売付属品			ヒータ、加湿器、木台		

注) 1. ★1は、JIS条件(室内側: 27℃ D.B, 19℃ W.B, 外気温度: 35℃ D.B) 配管相当長5m, 高低差0m。
2. ★2は、JIS条件(室内側: 20℃ D.B, 外気温度: 7℃ D.B, 6℃ W.B) 配管相当長5m, 高低差0m。
3. ★3は、JIS条件(室内側: 20℃ D.B, 外気温度: 2℃ D.B, 1℃ W.B) 配管相当長5m, 高低差0m。
着霜時(除霜運転を含む)の能力低下を含む。
4. ★4は、標準装備しているプーリ(60Hz地区ではプーリ径φ14.3に変更)での機外静圧を示す。
5. 本仕様表の、]で示す箇所は1台分の仕様を示します。

[illegible]

注

1. 配線要領ハ 内線規程 (JEAC8001~1990) ニヨル。
2. 「電気ヒータ加湿器」欄 (ハ) ハ別売付属品ヲ示ス。
3. 金属管配線 オビ 合成樹脂管配線ニツイテハ、同一管内ニ収メル電線数 3 本以下ノ場合ヲ示ス。
4. 「電線太サ」欄 (ハ) 内ハ電圧降下 % 時ノ電線最大コウ長ヲ示ス。電圧降下 % 時ハ電線最大コウ長ハ本表ノ 2 倍トナル。
5. ヒューズハ B 種ヒューズヲ使用スル場合ヲ示ス。
6. 配線用シャ断器ノ定格シャ断容量ハ、現地設備工事内容ニヨリ、各々異ナリマスノデ、シャ断器取付箇所ニオケル短絡電流ヲ計算 (推定) シ、充分耐エルタケノ、シャ断容量ヲ有スル適正ナシャ断器ヲ選定下サイ。ソノ都度計算出来ナイ場合ハ電気技術基準調査委員会ニオイテ JEAC8701「低圧電路ニ使用スル自動シャ断器現地設備、工事内容ニ適合スルシャ断器ヲ選定シテ下サイ。
7. 漏電シャ断器デ地絡保護専用ノモノハ、手元開閉器 マタハ配線用シャ断器ト組合セテ、使用スル事。ソノ場合ハ、ヒューズ容量マタハ配線用シャ断器ノ定格電流ト同等以上ノ容量ノモノヲ使用スルコト。

改正欄 REV.

△ '94. 11. 16

誤記訂正

有青端 / 表右

△ '96. 4. 8

機種名追加訂正

△ 喜 翠 橋

△ . .

配 布 先

D U 335-560 B

据付けのまゝに

○室外機は、2台使います。まず室内ユニットと室外ユニットの組み合わせを下表により確認してください。

○配管勝手方向を確認してください。

○ドレン配管接続口は、両側面にあります。左側を使用する時は鋳鉄製プラグを右側に付け換えて、確実に栓をししてください。

据付け

○エアコンの吊り下げは、下図の要領でゆっくり行ってください。

○コロを使用する場合は下図の要領で行ってください。

○エアコンの回りには下図のように、サービススペースと排水溝を設けてください。

○振動騒音が発生しないように強固な基礎の上に据え付けてください。

○水平、又はドレン配管取出方向に少し傾斜させるように据え付けてください。

ドレン配管

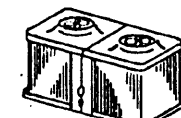
○配管は短く、下り勾配に行い、サイズはエアコン接続後と同じか、それ以上のものを使用してください。

○上下ドレンをまとめて排出する場合、上部ドレンが下部ドレンパンに流入しないように、連結は下部ドレン管より低い位置で行ってください。

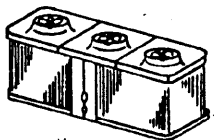
○ドレン出口には必ずドレントラップを設けてください。

○機外静圧の大きい場合は、ドレン出口にドレントラップを設けてください。

総称名	室内ユニット	室外ユニット
SRJ800P	FRYJ800P	No.1 CPYJ400P No.2 (2台使い)
SRJ1120P	FRYJ1120P	No.1 CRYJ560P No.2 (2台使い)
SRJ1400P	FRYJ1400P	No.1 CRYJ710P No.2 (2台使い)
SRJ800P	FRJ800P	No.1 CRJ400P No.2 (2台使い)
SRJ1120P	FRJ1120P	No.1 CRJ560P No.2 (2台使い)

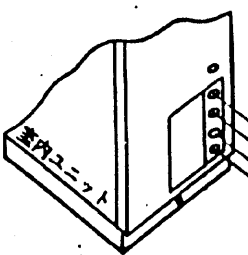
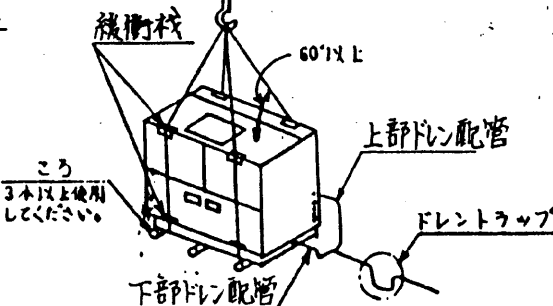
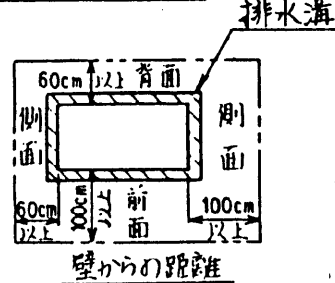


(CRYJ400P)
(CRYJ560P)
(CRYJ710P)
(CRJ400P)
(CRJ560P)

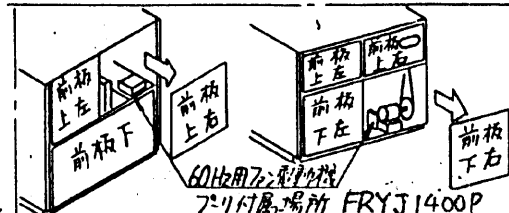


(CRYJ710P)

サービススペース



No.2ガス側連絡配管
No.2液側連絡配管
No.1ガス側連絡配管
No.1液側連絡配管



FR(Y)J800P/1120P

FR(Y)J1400P

室外ユニットへの連絡配管と連絡配線の記号No.1, No.2は必ず一致させてください。

(もし不一致に工事した場合、冷房運転時異常停止する恐れがあります。付属品袋に入っている「室内外機連絡工事注意銘板」に従って工事して下さい。)

○配管工事をする前に、連絡配管のうち、ユニット内部の配管を付属していただきますので下図の要領で取り付けてください。

○配管材料

サイズ：下表によってください。

材質：リン脱酸銅継目無銅管1種 C1220T-0(液管)、1/2H(ガス管)(JISH3300)

○配管施工後次の検査を確実に行ってください。(各系統ごとに行ってください。)

①洩れ試験(圧力2.8MPa) ②真空乾燥

○冷媒は室内ユニットに充填されています。

ただし配管長さが10mを超える場合は、下表により追加充填してください。

○ガス側配管の防熱は完全に行ってください。

○検査終了まで、ユニット内部の閉鎖弁は開かないでください。

配管トラップについて

○下記に従いガス側連絡管に配管トラップを設置してください。

1) SRJ800P, 1120P

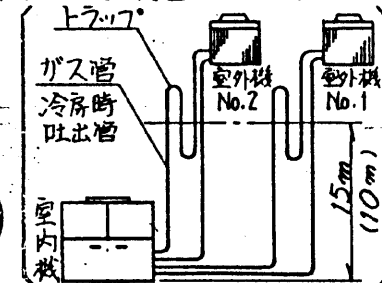
○トラップ不要。

SRJ800P, 1120P, 1400P

○室内機が下の場合のみガス管に

15m毎にトラップを設置。

(但しSRJ800Pに2ガス管を
サイズアップした場合は10m毎に設置。)

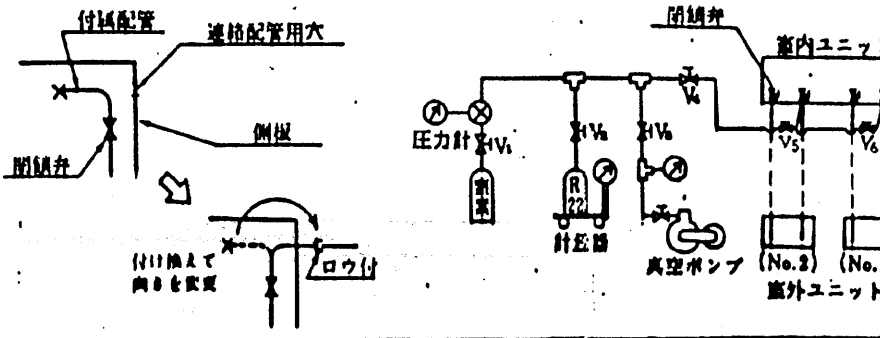


配管径および冷媒追加量

機種	配管サイズ		冷媒追加量(1系統分)	冷媒追加量(1系統分)	
	ガス側配管 外径×内径(最小)	液側配管 外径×内径(最小)		冷媒追加量(1系統分)	冷媒追加量(1系統分)
SRJ800P	No.1 No.2 φ31.8×1.4mm (φ30.1×1.4mm)	No.1 No.2 φ19.1×1.0mm	0.29 kg/m	35m	50m
SRJ1120P SRJ1400P	No.1 No.2 φ31.8×1.4mm (φ30.1×1.4mm)	No.1 No.2 φ22.2×1.0mm	0.41 kg/m	(50m)	(70m)
SRJ800P	No.1 No.2 φ25.4×1.2mm	No.1 No.2 φ19.1×1.0mm	0.29 kg/m	50m	70m
SRJ1120P	No.1 No.2 φ31.8×1.4mm	No.1 No.2 φ22.2×1.0mm	0.41 kg/m		

(注) 各系統(No.1 No.2)ごとに冷媒追加量を決定してください。

◎ 冷媒配管長が35mを超える時又は、配管相当長が50mを超える時は、ガス側配管を上表の()内のサイズに変更してください。
(SRJ800P, 1120P, 1400P)



○電源は専用の分岐回路からとってください。

○電気配線工事は、「電気配線図銘板」を見て行ってください。

○電気配線の太さ、配線器具容量は下表により決定してください。

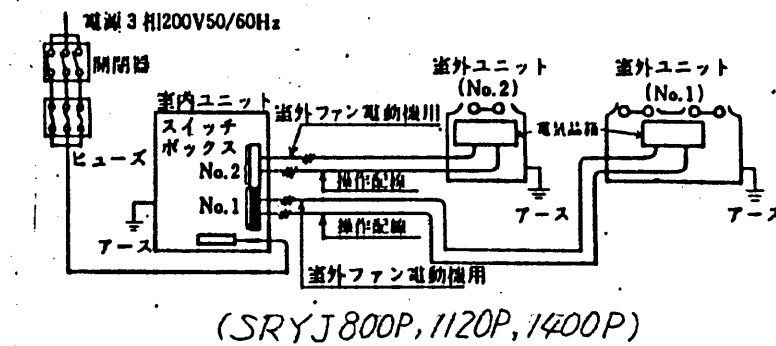
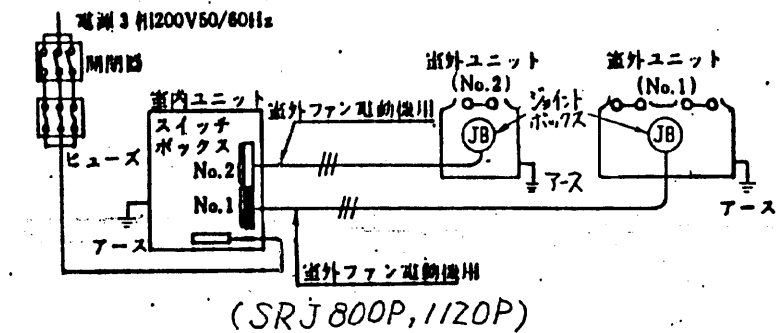
○室内ユニットと室外ユニットの連絡配線は、連絡配管に合わせてNo.1, No.2を区別して配線してください。

○アース線は必ずとってください。

○送風機の回転方向が反対の場合は、電源3線のうちいずれか2本を入れ替えて配線してください。

送風機は室内ユニットと室外ユニットの両方にあります。

○標準機外静圧の場合、ファン電動機ブーリは、50Hz用にセットしてあります。60Hzで使用する場合は、製品付属(下図)のブーリを使用してください。



(電気ヒータおよび加湿器を取り付けない場合)

機種	電源電線 (金属管配線)		第1 手元開閉器 使用の場合		第2 配線用 開閉器使用の場合		第3 電線管 使用の場合		ユニット 配線	接地線(40) (mm²)	
	太さ	最大長さ	開閉器 容量	配線 容量	開閉器 容量	配線 容量	開閉器 容量	配線 容量		第1	第2
SRJ800P	50mm²	25m	200A	150A	150A	150A	150A	150A	2mm²	14mm²	
SRJ1120P	100mm²	38m	200A	200A	200A	200A	200A	200A	2mm²	14mm²	
SRJ1400P	125mm²	38m	300A	300A	250A	250A	250A	250A	2mm²	22mm²	

(最大長は電圧降下1%の時を示す)

(電気ヒータを取り付ける場合)

○電気ヒータ配線は、電気ヒータキット(別売付属品)に付属しています電磁開閉器に直接接続してください。
スイッチボックス内の電線端子台へは接続できません。

(加湿器を取り付ける場合)

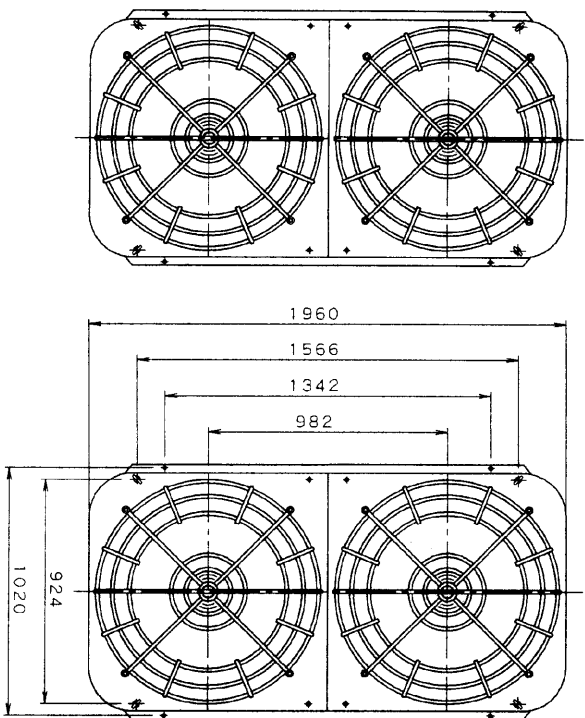
○加湿器配線はスイッチボックス内電線端子台に接続可能です。ただしこの場合電線配線および配線器具類の容量アップが必要場合があります。
将来取り付け予定の場合は容量アップを見込んで配線しておいてください。

[SRJ800P, SRJ1120P, SRJ1400P
SRJ800P, SRJ1120P]

2PA54208 -1C

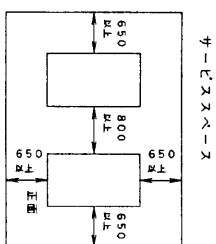
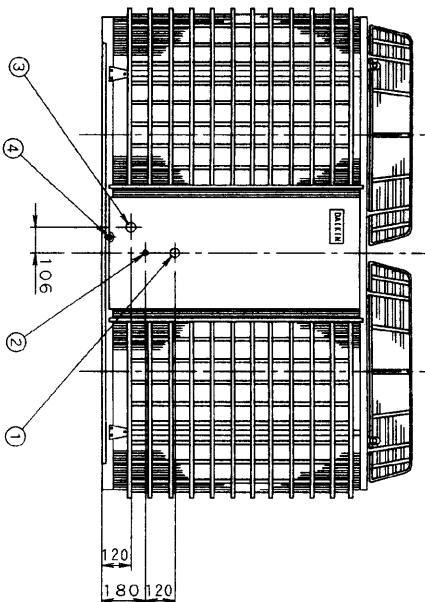
NO. 1 室外ユニット

NO. 2 室外ユニット



4-φ15mm 穴
(取付ボルト用)

A 矢視図



⑧

CCM

2

改正欄 REV.

△ 92.8.24

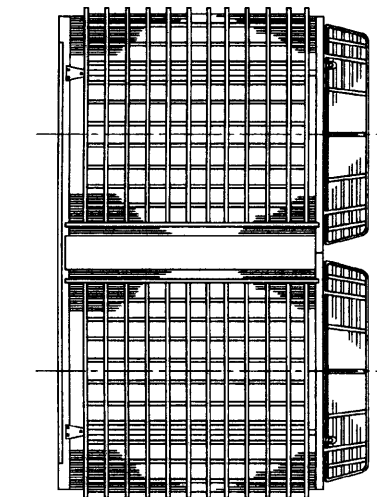
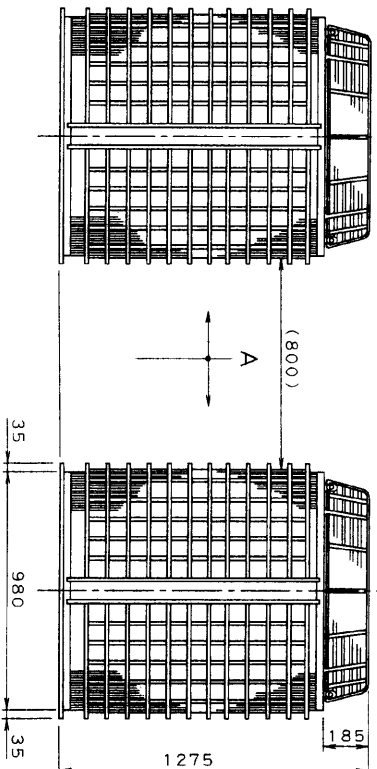
CAD化ニヨル
サービスマンズ
追加

△ 94.6.28

機種名追加

△ . .

配布先



注) 室外機は、2台で1組とする。

4	アース端子	MGボルト×2
3	室内外連絡配線取入口	φ40×2
2	液側配管	φ22.25mm接続×2
1	ガス側配管	φ38.1mm接続×2

部番	名称	記事
----	----	----

製品名
室外ユニット
型式
CRY20JA2(E1A)
CRYJ560P(E)

第3角法
3RD ANGLE PROJECTION
尺度
SCALE

承認
APPROVED
検査
CHECKED
設計
DESIGNED
図
DRAWN

作成日
DATE
92.8.24
図番
DWG. NO.
DU345-213B

機 種 名

外 形 図

ダイキン工業株式会社
DAIKIN INDUSTRIES, LTD.

承認
APPROVED
検査
CHECKED
設計
DESIGNED
図
DRAWN

作成日
DATE
92.8.24
図番
DWG. NO.
DU345-213B